

第九十同
帝國議會
貴族院

改定豫算に關する法律案特別委員會會議事速記録第三號

付託議案

○改定豫算に關する法律案

昭和二十一年八月十五日(木曜日)午前十時五十七分開會

○委員長(男爵久保田敬一君) 是ヨリ

昨日ニ續イテ會議ヲ開キマス

○松村眞一郎君 政府ノ御考ハ憲法第七十一條ニ依リマシテ、前年度豫算ヲ昭和二十一年度ニ於テハ施行シテ居ルノデアリマスカラ、二十一年度ノ本豫算ガ現在存在シテ居ルト云フコトヲ御認メニナルト思フノデアリマスガ如何デアリマスカ

○政府委員(入江俊郎君) 昭和二十一年度ノ豫算ハ現在存在シテ居ルト認メテ居リマス

○松村眞一郎君 他ノ言葉ヲ以テ申シマス云フト昭和二十一年度ノ本豫算、總豫算ガアルノデアル、サウ云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(入江俊郎君) 其ノ通りニ考ヘテ居リマス

○松村眞一郎君 帝國議會ニ於テハ憲法ノ第六十四條ニ於キマシテ「國家ノ歳入歳出ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ經ヘシト云フ」此ノ帝國議會ハ、是ハ通常議會……大體總豫算ハ通常議會デ決議スルト云フ風ニ御解釋ニナリマスカドウデアリマスカ

○政府委員(入江俊郎君) 六十四條ノ解釋トシテハ、サウ解釋スルノガ穩當デアラウト考ヘテ居リマス

○松村眞一郎君 解散後ノ議會ハ常會デハナイト云フコトハ御認メニナルト

思ヒマスガ、常會ニアラザルモノガ豫算全部ヲ議スルト云フコトハ、憲法ノ認メザル所デアルト考ヘテ居リマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(入江俊郎君) 其ノ點ニ付キマシテハ憲法ノ六十四條ノ規定ガアリマスケレドモ、今回ノ如キ場合ニ於テ云フコトニシテ之ヲ議會ニ提出スルニ反スルモノトハ考ヘナイノデアリマスノミナラズ、改定豫算ハ形式トシテハ總豫算トナリマスケレドモ、其ノ中ニハ施行豫算即チ現ニ成立シテ居ル昭和二十一年度ノ豫算ノ款項ト全ク同ジモノモアルノデアリマシテ、ソレ等ノ點ニ付テノ議會ノ審議權ハ、形式的デハ豫算デアリマスケレドモ、改定豫算ノ審議ヲスル場合ニ、總豫算ノ部分ニハ審議權ハ及バナイモノデアルト考ヘテ居リマスノデ、從ツテ憲法六十四條トノ關係ニ於テハ、今回ノ措置ハ憲法上可能デアルト考ヘタノデゴザイマス

○松村眞一郎君 サウ致シマス云フト、政府ガ今度御出シナツテ居ル豫算ハ、唯全文ノ形ヲ整ヘタニ過ギナイノデアツテ、議會ノ審議權ハ、其ノ中ノ一部ニ止マルト云フコトノ御意見デゴザイマスカ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(入江俊郎君) 其ノ通りト考ヘテ居リマス

○松村眞一郎君 サウ致シマス云フト其ノ審議權ノ及ブ範圍ト及バザル範圍トノ區分ハドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(入江俊郎君) 今回ノ改定豫算ハ前同ニモ申上ゲマシタヤウニ、追加豫算ニ當ル部分ト、ソレカラ所謂行政費例トシテ認メラレテ居ルタ實行豫算ニ當ル部分トアリマスノデ、ソコデ追加豫算ニ關スル部分、即チ現ニ成立シテ居ル豫算ノ款項ノ金額ヲ超過シテ居ル部分ハ、是ハ追加豫算デアリマス、從ツテ此ノ點ニ付キマシテハ勿論審議ノ對象ニナルト考ヘテ居リマス、ソレカラ實行豫算ニ當ル部分、即チ成立シテ居ル豫算ノ金額ヲ減額スル部分デアリマスガ、此ノ減額致シマス部分ニ付キマシテハ、是ハ審議權ノ對象トナツテ居ルト考ヘテ居リマス、併シ増減ナク款項ガ同ジト云フ風ナ部分ニ付キマシテハ、是ハ恰モ皇室費ニ付テノ場合ト同ジヤウニ、審議權ノ範圍ニ入ツテ居ラスト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松村眞一郎君 サウ致シマス云フト、審議權ノ範圍ニ入ラナイ部分ハ、便宜茲ニ添附サレタト云フ譯ナデスカ

○政府委員(入江俊郎君) 改訂豫算ヲ今回斯ウ云フ形式デ作りマス必要ニ付テハ、御話申上ゲマシタ通りデアリマシテ、ソレ等ノ實際上ノ必要カラシテ、形式上一目シテ豫算ノ全面ガ分ルヤウニ、審議權ノ對象トナツテ居ラナイ部分モ、此ノ豫算ノ形式ノ中ニ附加ヘテアルト云フ風ニ御解釋願ヒタイト思ヒマス

○松村眞一郎君 昨日ハ特別會計法トノ御議論ガアリマシタガ、特別會計法ガ成立シナカッタ場合ニハ、特別會計ノ款項モ消滅スルト云フ御考デアリマス

○政府委員(入江俊郎君) 特別會計設置ニ付テハ、法律ガ必要デアルト云フコトニ會計法ノ規定ガナツテ居リマスノデ、特別會計豫算ヲ提出シマシテモ、若シ法律ガ、特別會計法ガ成立致シマセヌ時ニハ、豫算トシテハ成立シ得ナイモノト考ヘテ居ルノデアリマス

○松村眞一郎君 昨日政府委員ノ方カラ、租税ノ關係ガアリマシタガ、例ヘバ税法ヲ改メル場合ニハ豫算ヲ改メテ、同時ニ出ス慣例ニナツテ居リマスカ

○政府委員(河野一之君) 御答ヘ申上ゲマス、歳入豫算ノ場合ハ、歳出豫算ト多少越ガ違ヒマシテ、増税ニ關スル法律案ヲ修正其ノ他ノ關係デ、歳入ガ減少致シマシタカラト言ウテ、特ニ歳入豫算ノ減額ヲ立テテ追加豫算ヲ出スト云フ慣例ハ常ニアル譯デアリマセヌガ、其ノ額ガ非常ニ大キクナリマシテ、歳出豫算ノ執行上、支障ヲ來スト云ツタヤウナ場合ハ、歳入豫算ノ減額ヲ立テテ議會ノ協賛ヲ仰ギマシタ例ハ、過去ニゴザイマス

○松村眞一郎君 増税ノ場合ハ如何デスカ

○政府委員(河野一之君) 増税ニ依ツテ、多額ノ歳入ガアルト云ツタヤウナ場合ニハ、追加豫算ヲ提出致シマス

○政府委員(河野一之君) 増税ノ金額ハ、總豫算ノ中ニ勿論加ヘテゴザイマス

○委員長(男爵久保田敬一君) 外ニ御質問ゴザイマセヌデスカ、外ニ御質問ガゴザイマセヌナラバ、一昨日以來ノ御質疑ヲ總メマシテ、私カラ伺ヒマシテ、政府カラシテ總メタ御意見ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、私モ會計及ビ法律ノコトハ、能ク分リマセヌノデ、間違ツタコトガゴザイマシタリ、又足リナイコトガゴザイマシタリ、外ノ委員ノ方カラ補充シテ戴キマシテ、政府ノ總ツタ御答ヲ得タイト思ヒマス、第一ニ、此ノ改定豫算ニ關スル法律案ハ、二十一年度ニ於テハ既ニ此ノ施行豫算ガアルニ拘ラズ、此ノ施行豫算ヲ此ノ改定豫算ニ關スル法律案ニ依ツテ變更スルヤウナ風ニ見エルガ、是ハ憲法ニ定メラレタル所ノ施行豫算ヲ、法律ヲ以テ改定シヨウト云フヤウニ考ヘラレルガ、是ハ不穩當デハナイカト云フコトガ第一點デアリマス、第二點ハ豫算及ビ決算ハ、同ジ形ニ於テ、之ヲ提出シナケレバナラズト云フコトガ定メテアリマスノニ、今度ノ決算ハ改定豫算ヲ元トシテ決算ヲ御出シニナルト云フコトハ、既ニ定メテ居ル施行豫算ヲ無クシテシマフヤウナ形ニナツテ居ルガ、是ハサウ云フ風ニ御考デアリマス

カ、之ヲ一ツ二點トシテ伺ヒタイ、第三點ハ、此ノ法律ニ依リマス、昭和二十

十一年度ニ於テハ改定豫算ヲ今期ノ帝國議會ニ提出スルコトガ出來ルト云フコトガ規定シテゴザイマシテ、改定豫算ヲ今期ノ帝國議會ニ提出スルニハ、新ラシイ立法ヲ要スルト云フコトヲ政府ヲ御認メニナツテ居ルニ拘ラズ、此ノ法律案ガマダ效力ヲ生ジナイ中ニ、既ニ改定豫算ヲ今期ノ帝國議會ニ御提出ニナツタト云フコトハ、法律ナシテ改定豫算ヲ今期ノ議會ニ御提出ニナツタト云フ風ニ考ヘラレガ、此ノ點ハ如何デアルカ、是ダケガ主ナ點デアルト思ヒマスガ、ソレダケデ宜シウゴザイマスガ、松村君他ニマダ……

○松村眞一郎君 結構デゴザイマス
○委員長(男爵久保田敬一君) 政府當局ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス
○政府委員(入江俊郎君) 只今ノ御質問ニ對シマシテ政府ノ考ヘテ居リマス

ル所ノ取極メテ御答ヘ申上ゲタイト存ジマス、今回ノ改定豫算ニ關スル法律ハ、要スルニ會計法ノ規定ノ範圍ニ於キマシテ豫算ノ形式ヲ定メタモノト考ヘテ居リマス、ソレ故ニ憲法上ノ豫算ノ性質ヲ變更スルトカ、或ハ又憲法上豫算ニ對シテ議會ノ許シテ居ル審議權ニ變更ヲ加ヘルトカ云フ風ナコトハ全然考ヘテ居ラナイノデアリマス、更ニ又改定豫算ニ關スル法律ハ豫算技術ニ關スル法律デアリマシテ、豫算其ノモノヲドウスルト云フヤウナモノデハナイト云フコトヲ御了承願ヒタイト思フノデアリマス、即チ改定豫算、是ハ施行豫算ヲ前提トシ、施行豫算其ノモノニ對シマシテ其ノ形式ヲ改定シヨウトスルモノデアリマス、ソレ故ニ此ノ改定豫算ハ憲法上ノ豫算ト致シマシテハ施行豫算ト豫算ト自身ノ性質トシテハ同一ノ性質ヲ持ツタモノト云フテ差支ナ

イト思フノデアリマス、唯施行豫算ヲ形式上改定致シマスコトニ付キマシテ、施行豫算ノ各款項ニ付キマシテ減額セシムベキ金額ハ之ヲ減少シ、追加ヲ要スル金額ハ之ヲ追加致シマシテ、差引今年度ニ於テ使用シ得ベキ金額ヲ決定シヨウトスルモノデアリマス、是等ノ總テノ行爲ニ付キマシテ議會ノ協賛ヲ求メルト云フコトニ致シタノガ、此ノ改定豫算ト云フモノデアリマス、是ハ前々申シマシタヤウニ帝國議會ノ協賛ヲ經テ繼續費ノ規定年額額ニ付キマシテ計畫等ノ變更ニ依ル不用額ヲ減少シ、又新計畫ニ依ル追加額ヲ加ヘマシテ、之ヲ繼續費ノ決定トシテ御協賛ヲ仰イデ居ツタノデアリマスガ、ソレト同ジヤウナ考慮ヲ持ツテ説明ラスルコトガ出來ルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、尤モ從來實行豫算編成ノ場合不使用額即チ減少額ノ決定ハ政府内部ノ意思決定デ行ツテ居ツタノデアリマスケレドモ、今回ハ其ノ金額ガ餘リニモ巨額ニ上リ、且左様ナ方法ヲ以テ致シマシテハ、豫算ノ全貌ガ明カトナリマセズ、豫算ハ成ルベク一日シテ簡明直載ニ見テモ分ルヤウニスルコトガ必要ダナウト考ヘマシテ、帝國議會ノ御協賛ヲ以テ、確定的ニ減少スベキ額ハ落スト云フコトニ致シタノデアリマス、而モ此ノ減少額ノ確定的ニ落スト云フ風ナヤリ方ヲ豫算ノ變更ト云フコトデ、豫算ノ形式デ行ツテ議會ノ御協賛ヲ經ルト云フコトニ致シマシタ以上、憲法七十一條ニ於テハ「前年度豫算ヲ施行スヘシ」トアリマスケレドモ、其ノ施行シタ豫算ヲ基ニシテ之ニ豫算ノ形式上ノ手直ラシタニ過ギナイノデアリマスカラ、七十一條違反デナイノミナラズ、更ニ國會ノ意思ヲ尊重

スルト云フ點ニ於テモ、立憲的措置デアルヤウニ考ヘタ次第デアリマス、尙此ノ改定豫算ノ款項金額ノ中ニハ施行豫算ノ款項金額ト全ク同ジモノガゴザイマス、是ハ實ハ當該款項ニ關スル限リ御協賛ヲ戴ク必要ガナイノデアリマスケレドモ、豫算全體ヲ明カニスルト云フコトガ、今回ノ改定豫算ノ形式ヲ定メマシタ趣旨デモアリマスノデ、之ヲ總テ掲ゲマシテ一目シテ總テガ分ルヤウニシタ次第デアリマス、此ノ點ハマア言ツテ見マスレバ、皇室費デアルトカ或ハ繼續費ノ既年度額ガ當該款項トシテ特ニ協賛ヲ求メル必要ガナイニ拘ラズ、豫算トシテ從來計上セラレテ居ルノト同一趣旨ト考ヘテ居ルノデアリマス、第一點ニ付キマシテノ政府ノ見解ハ今申上ゲマシタヤウナ次第デアリマス、第二點ノ豫算ト決算トノ關係デアリマスガ、御意見ノ如ク決算ハ豫算ト同ジ形式ヲ以テ之ヲナスベキモノト考ヘマスガ、最モ申上ゲマシタヤウニ、今回ノ改定豫算ハ憲法上ノ豫算ソレ自身トシテハ施行豫算ト同一性質ヲ持ツテ居ルモノデアリ、唯其ノ形式ガ改定サレテ今回ノ如キ形ニナツタノデアリマスカラ、ソコデ決算ノ場合ハ改定サレタ形式ニ從ツテ決算ヲスルト云フコトニナルノハ當然デアリ、此ノ點ハ決算ハ豫算ト同ジ形式デ行フノダト云フ趣旨ニ合ハウト思フノデアリマス、問題ハ施行豫算ト云フモノガアツテ、其ノ施行豫算ニ對シテ決算ヲスベキデハナイイカト云フ點ニ付キマシテハ、今申シマシタヤウニ施行豫算ト憲法上ノ性質ハ同一性質ヲ持ツナガラ、形式ノ變更ツタ改定豫算ト云フモノガアルノデアリマスカラ、決算ノ形式ハ決算リ改定豫算ニ依ルト云フコトニスルノデ

アツテ、憲法上或ハ會計法上差支ナイ私共ハ考ヘタ次第デアリマス、最後ノ改定豫算ノ法律ト今回ノ改定豫算トノ議會ヘノ提出ノ時期ノ問題デアリマスガ、改定豫算ニ關スル法律ガ兩院ヲ通過シマシテ成立シタ後デ改定豫算ノ御審議ヲ願フト云フコトニ致シマスナラバ、此ノ點ハ最モ理想的デアルトハ思ヒマススケレドモ、各種ノ事情ニ依リマシテ實際サウ云フコトハ今回ハ不可能ニナツタ譯デアリマス、併シ不可能デアリマシテモ、是ガ假ニ出來ナイコトデアリマスナラバ、是ハマアシテハナラナイイコトデセウケレドモ、併シ政府ト致シマシテハマア一ツノ議會ハ單一ノ意思ヲ持ツテ居ルト云フ風ナ考ヘ方モアリマスシ致シマスノデ、兩院同時ニ御審議ヲ御願ヒ致シマシテ、審議ノ段階ニ於キマシテ兩者相關サセナガラ兩院ノ御意見ヲ御決メ下サルト云フ風ナコトニ致シマスナラバソレデ必ズシモ不當デハナイノダラウ、又之ヲ以テ憲法ト云フベキモノデモナイデアラウト考ヘタノデアリマス、從來特別會計ノ設置ニ關スル法律案ト、之ニ關スル豫算ニ付キマシテモ、斯カル先例ヲ採ツタコトガ度々アリマスガ、之ヲモ尙怪シカラスト仰シヤレバソレ迄デアリマススケレドモ、其ノ程度ノコトハ不當ト云フモノデモナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、要スルニ以上申上ゲマシタガ、兎ニ角今回ハ終戦後ノ激動期ヲ經ヘマシタ、戦時中ノ豫算ト本年度ノ財政計畫トハ全ク面目ヲ一新シテ居リマス、併シナガラ憲法七十一條ニ依リマシテ施行豫算ト云フモノガ成立致シマシタ以上、之ニ對シテ何等カ特殊ノ方法ヲ探ラズンバ新ラシイ財

政計畫ヲ立ツルニ支障ヲ生ズルト云フ見方ヲ致シマシテ、是ハ特例中ノ特例トシテ斯様ナ制度ヲ考ヘタノデアリマス、ソレ故ニ今度ノ法律ニモアリマスヤウニ此ノ改定豫算ノ此ノ特例ハ、昭和二十一年度ニ限ツテノ規定トシテ茲ニ出テ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フ制度ヲ恒久的ニ作ツタモノデハナイノデアリマス、色々委員會等ニ於キマシテ御議論ノ出マシタ點ハ政府トシテハ十分將來研究ヲシ、又反省ヲシタイト思ヒマススケレドモ、今回ノ措置ハ已ムヲ得ザルニ出デタモノデアリ、且其ノ限度ニ於キマシテ憲法上モ又ハ會計法上モ之ヲ許シ得ルモノデアルト考ヘテ、斯カル案ヲ提出シ御審議ヲ煩シタ次第デアリマス、新憲法ガ施行ニナツタ後ニ於キマシテハ、七十一條ト云フ風ナ條文モナクナルノデアリマシテ、將來ノ豫算ノ問題、或ハ又財政ニ關スル新憲法ノ運用等ニ付テハ、十分新ラシイ見地カラ適切ナル措置ヲ執リタイト考ヘテ居リマスガ、兎ニ角此ノ過渡期ニ於ケル已ムヲ得ザル方法トシテ斯様ナ手段ニ出ルト云フコトヲ御了承願ヒタイト存ズルノデアリマス

○委員長(男爵久保田敬一君) 此ノ程度ニテ質問ヲ終リマシテ、討論ニ移リタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

○委員長(男爵久保田敬一君) 討論ニ移リマス

○河井彌八君 本案ノ審議ニ付キマシテハ、憲法上並ニ法律上ノ根據如何、又此ノ案ノ内容ノ性格如何ト云フ問題ニ付キマシテ、徹底的ナ檢討ヲ加ヘラレタノデアリマス、私ハ松村委員ノ御意見ハ最モ當ラ得テ居ルト考ヘルノデ

アリマス、併シナガラ此ノ案ヲ出ササケレバナナイ事情、是ハ實ニ情ナイコトデアリマスガ、今日我々ガ直面シテ居ル所ノ問題トシテ、如何ニ議論ヲ盡シテモドウスルコトモ出来ナイモノデハナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、ソレ故ニ政府ガ今説明セラレマシタ説明ヲ、大體ニ於テ之ヲ諒シテ、此ノ案ヲ通スト云フコトニ同意シヨウト考ヘルノデアリマス、其ノコトヲ申述ベマス

○委員長(男爵久保田敬一君) 松村君御發言アリマセマカ

○松村眞一郎君 私ハ政府ガ斯カル法律案ヲ御提案ニナリマシテ、サウシテ豫算ヲ鳥瞰的ニ眺メルコトノ出来ル形式ニ整ヘルト云フコトノ必要ナルコト、尙サウ云フヤウニ致サナケレバナラスト云フ御事情ニ付テハ十分諒ト致シテ居ルモノデアリマス、併シナガラ憲法ノ七十一條ニ於キマシテ前年度豫算ヲ施行シ、嚴然トシテ昭和二十一年度ノ豫算ガ存在シテ居ル場合ニ於キマシテ、解散後ノ議會ニ於キマシテハ本豫算ニ對スル本質上ノ追加豫算ダケヲ議決スベキモノデアルト云フコトカラ鑑ミマシテ、サウシテ通常議會ニ於テハ總豫算ヲ議スルノデアリマスケレドモ、解散後ノ議會ニ於テハ權限上斯カル追加的ノ豫算ノミヲ審議スベキ立場ニアル關係カラ考慮シマシテ、私ハ形ニ付テハ便宜上斯カル豫算案ヲ提出サレルコトニ異議ハアリマセマケレドモ、法律ヲ以テ此處ニ斯クノ如キ提案ヲセラレ、法律ニ基イテ斯ウ云フヤウナ形ヲ整ヘタト云フコトニナリマスルト云フト、憲法ノ關係上疑義ヲ生ズル虞アリト私ハ考ヘマスルカラ、政府ガ斯ク出サレテ居リマスル形デ豫算ヲ提

案サレルコトニハ異議ハゴザイマセヌ、併シナガラ此ノ法律ヲ御出シナルト云フコトニ付テハ賛成致シカネルノデアリマス、私ハ本案ニ賛成致スコトガ出来ナイコトヲ申上ルゲル次第デアリマス

○黒田英雄君 私ハ此ノ法案ニ付テハ最初憲法上違法デハナイカト云フヤウナ考ヲ持ツテ實ハ色々御質問ヲシタノデスガ、政府ノ御答辯ニ依リマシテ、多少穩當ヲ缺クノデヤナイカト思ヒマスガ、併シ必ズシモ憲法違反デハナイト云フ風ニ考ヘテ參リマシタノデアリマス、ソレハ二十一年度ノ施行豫算ト云フモノハ既ニ嚴然トシテ存在シテ居ル、之ニ對シテ新タナル追加豫算ニ當ルベキ追加ト、ソレカラ從來ハ餘リ例ノナイコトダト思ヒマスガ、減額スベキモノ、款項ニ付テ是ダケヲ減額スルト云フコトニシタイト云フコトデ議會ノ協賛ヲ求メラレルト云フコトガ加シタコトガ此ノ法律ノ目的デアル、サウシテ豫算ハ施行豫算ニ追加若シクハ減額ト云フコトニ依ツテ形ハ非常ニ變ツテ來ルガ、矢張り施行豫算ト云フモノガ無クナツテシマフモノデヤナイト云フコトノ老ヲ以チマシテ、本法案ニ賛成シマス

○委員長(男爵久保田敬一君) 外ニ御發言ガアリマセマケレバ採決ヲ致シマス、本法案、政府原案ヲ可トスル方ノ舉手ヲ願ヒマス

(舉手者多數)

○委員長(男爵久保田敬一君) 多數デアリマス、本法案ハ可決サレマシタ、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時二十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵久保田敬一君

委員

公傳桂 廣太郎君

侯爵大炊御門經賴君

伯爵黒田 清君

子爵綾小路 護君

子爵稻垣 長賢君

永井 松三君

河井 彌八君

松村眞一郎君

男爵稻田 昌植君

男爵古市 六三君

黒田 英雄君

奥村 嘉藏君

片岡 直方君

長島 銀藏君

男爵坂本 大造君

木下謙次郎君

政府委員

法制局長官 入江 俊郎君

法制局事務官 宮内 乾君

大藏事務官 野田 卯一君

同 河野 一之君

昭和二十一年九月七日印刷

昭和二十一年九月九日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局